

# 例会報告

第2601回例会報告議事録

日時 令和2年1月14日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ゲスト：なし

ビジター：なし

S.A.A.: 柳田会員

## 会長挨拶

木村会長



久しぶりのマークワンさんでの例会となりました。

米山の特別寄付金が100万円を越える毎に感謝状が届くらしいのですが、米山から感謝状がクラブに届いています。個々の特別寄付額はクラブ活動計画書の43ページに出ていますので、足してみるとトータルがわかると思います。

私が加盟している学習塾で年の最初に総会というものがあり、その中である経済学者の方の講演を2日前に受けて参りました。

経済学というのは統計の学問ですが、経済学の理論を用いて教育を分析するという教育経済学についての話でした。日本では統計を取って教育について考えるという事はされておらず、アメリカのデータを用いての話でした。

認知能力と否認知能力とあるのですが、子どもが大人になった時に役に立つのは否認知能力だというお話でした。

認知能力というのはIQや計れる力、数がわかる、字が書ける等の力で、否認知能力というのは自制心、やりぬく力、しつけとかいうものです。

アメリカでは40年以上、3~5、6歳の就学前の子ども達をランダムに抽出して統計を取って集計し、検証しているそうです。

大人になった時に、数がわかる、字が書ける力はだいたい同じになるのですが、その後の力は否認知能力の差が出てくるそうです。

ではどうやったら否認知能力がつくのかということ、子ども達の自発的な部分を大切にするとか、自分からやる力をつけさせることで否認知能力がつくそうなのですが、そのためには、子ども任せにするのではなく、大人の力が必要になるとのことでした。就学前の子ども達にどういう教育をするのかが、これからの教育業界や日本の将来を考えた時に大事になってくるのではないかということでした。

子どもに勉強させるのにご褒美というのがありますが、これは有効とのことでした。人参は必要だそうです。ただし、ご褒美をあげるとしたら、ある科目を90点以上取ったらとかではなく、細かく分けて、毎日、勉強したらご褒美をあげるのがいいそうです。個別の単純作業をクリアするのには有効だそうです。習慣付けのためのご褒美はいいそうです。

否認知能力というのは、幼児教育のトレンドとして出て来ている言葉ですので、ちょっと頭の中に入れてもらえればと思います。

## 親睦委員会報告

倉持委員長

今月が誕生日の瀧日会員、今井会員、石原会員のお祝いをしたいと思います。



### 瀧日会員より

誕生祝いありがとうございます。1月10日で85歳になりました。余生を語る年齢です。

余生と言えば、晴耕雨読と言いました。四文字熟語がわからない人が多くなりましたので解説しますと、晴れた日には耕し、雨の日には本を読む、ということです。

私も庭の空き地に大根とネギと豆を植えて収穫しています。大根はよくできまして、子ども達が来ちゃあ抜いて行っています。大根というのは根を張りますから深く耕しとかなないとだめなのですが、私の耕し方が浅いので、大根の上が10cmくらい出ている、育つに従って段々上に出て来ている。農業の方はなかなかむずかしいです。

晴耕雨読を志したいと思っているのですが、仕事から完全に離れてしまうのも寂しいので、資格を維持するために公認会計士は年間40単位、税理士は年間30単位、合計70単位の研修が必要なので、それはやっています。

事務所は息子に譲りましたが、息子の手が回らない所は少し手伝っています。  
85歳というのは自分の人生計画の中に入ってなかったです。その年齢の人生計画立てている人、います?今のうちに考えておいた方がいいかもしれません。  
ありがとうございました。



#### 今井会員より

今日は誕生日祝いをいただきましてありがとうございます。ねずみ年ですので、今年で72歳になりました。

1月2日が誕生日なのですが、毎年このところ箱根駅伝のゴール地点でいつも誕生日祝いをやっていただいています。

仕事なのですが、現在も自分の会社の社長をやっておりますが、この年齢になりますと、だんだん欲がなくなってきます。先輩から、これから人生100年時代なんだから、もうちょっと欲をかいっていった方がいいんじゃないかと言われるのですが、そこそこに働かせていただいて、病気をしない健康な体を作って行きたいと思っています。

また今日、気持ちを改めて、仕事に邁進していきたいと思っています。どうぞこれからもよろしくお願いします。



#### 石原会員より

今日はお誕生日祝いをありがとうございます。

年というのは意識をしないで重ねて行くものなのですが、このところ、そんなに年なんだと再認識することがありました。1月2日が誕生日なのですが、節目の年になりました。

1月9日あたりに娘と孫とスキーに行ったのですが、リフト券を買う所で「ばあば、シニア券があるよ」と孫に言われて、安いので買いました。そしたら、腕章に「シニアリフト券」と大きく書かれていて、リフトのおじさんに「わりあいと早く降りて来ましたね」と言われました。

映画もシニア券があり、一般が1800円のところがなんと1000円で見られます。

極めつけは、2、3日前に我孫子市から重要と書かれた書類が届きました。介護保険被保険者証が届きました。私の母のじゃないの?私なんだ?と再認識しました。

友人たちの話を聞いても、続々と定年退職です。まだまだ元気なんだから頑張ろうよみたいな話をしています。

瀧日先生や今井先生を目標に頑張ってやっていきたいと思えます。

先ほど会長からお話があったように、否認知能力というのは子どもの頃に育まれるそうですので、小さい子ども達のEQ指数を上げるべくこれからも邁進していきたいと思えます。よろしくお願いします。

### 出席委員会報告

堤委員長



23名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率71.87%  
欠席者が9名

業務の為: 古谷野会員、佐藤拓司会員、澁谷会員、関根会員、寺井会員、  
日暮会員、福武会員、前田会員、湯下会員

### 幹事報告

藤本幹事



- ・RLIのセミナー開催の案内受理。  
2月1日(土)千葉市の市民会館にて開催。  
パート4まで4月まで開催されるとのことで、受けて参ります。
- ・ロータリー財団より補助金管理セミナー開催の案内受理。  
2月2日(日)三井ガーデンホテル千葉にて開催。
- ・柏東RC45周年の記念例会開催の案内受理。  
2月27日(木)クレスト柏にて開催。

(次ページに続く)

- ・地区の職業奉仕・社会奉仕委員会開催の案内受理。  
1月30日(木)千葉にて開催。
- ・グループラインにもお送りしたのですが、骨髄バンクの案内を送らせていただきました。

知り合いで小劇団に属しており、「友情」という演劇が渋谷でありました。白血病になった中学生の女の子のために子ども達が舞台上で髪の毛を剃るという、何度も泣けてしまうような舞台でした。

東京の2750地区の昨年度の服部陽子ガバナーがドクターの役で出演されました。劇が終わった後に、服部さんがロータリーが奉仕活動の一環で骨髄バンクをしているという話をされていました。

骨髄バンクには年齢制限があり、ドナーの提供は18~55歳しかできないそうで、私は残念ながら年齢的に適合しません。パンフレットを買う事が寄付になるとのことで買って来ました。

劇は20年くらい続けているようで、小さな劇団ですが、昨年亡くなった松方弘樹さんが最後に出られた演目とのことで、著名な方が出演されています。定期的にやっておりますので、よかったですら皆さんもご覧になると大変感動されるかと思えます。できましたら骨髄バンクにもご協力していただければと思います。

## 開会の言葉

木村会長

例会を閉会いたします。点鐘します。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
木村会長	今年もよろしくお願いいたします。	1,000円
藤本幹事	瀧日会員・今井会員・石原会員、おめでとうございます。	1,000円
石原会員	誕生祝いありがとうございます。	1,000円
今井会員	誕生祝いをいただき、ありがとうございます。	1,000円
上村英生会員	本日は、ご利用ありがとうございます	1,000円
上村文明会員	皆様、誕生日おめでとうございます。	1,000円
瀧日会員	誕生祝い、ありがとうございます。	1,000円
服部会員	会長、ためになる話をありがとうございます。	1,000円
村越会員	今年もよろしくお願いいたします。	1,000円
当日計		9,000円
今期累計		279,221円

今週の表紙「めばえ幼稚園」千葉県我孫子市白山2丁目7番5号

広大な園庭で豊かな自然と触れ合いながら、子ども達がのびのびと自由に遊ぶ幼稚園です。子どもの主体性をとても大事にし、自主性に任せる保育をしています。子ども達は泥んこになって実に生き生きと楽しく遊んでいます。園庭には子どもと先生と保護者の方達が協力して作り出した手作りの遊具があふれています。お父さんと遊ぶインディアン祭りは名物行事のひとつです。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。